アイフェル
アクセスポート
取扱説明書

PROVA

ご使用になる前に必ずお読みください

《商品番号･適合車種》
20140CB1000　BM/BR A ターボ
20130CB1001　BL5/BP5 A-C ターボ
20134CB1002　BL/BP D-F 6MT/5MT/5AT ターボ, Tuned by STI, S402, 2.5XT
20230CB1004　GR/GH 6MT/5AT/5MT/4AT, SH 5MT/4AT, YA 5AT ターボ

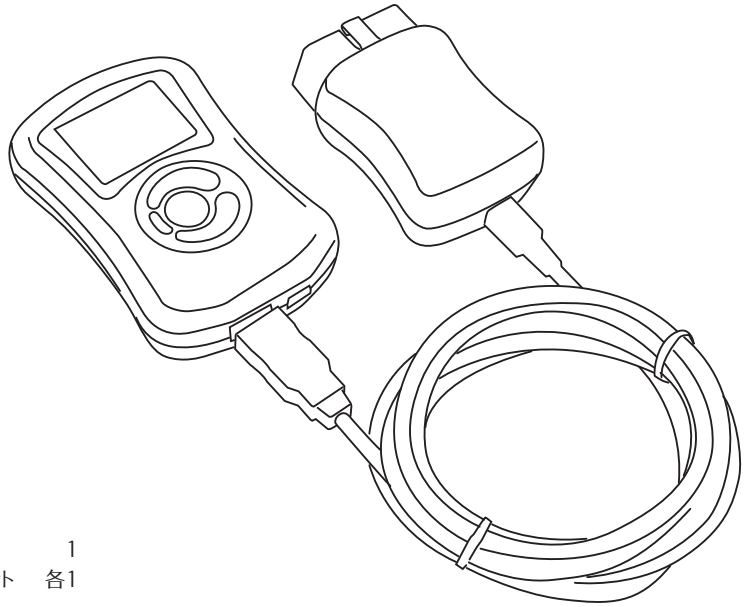
この度は弊社アイフェル･アクセスポート（AP）をご購入頂き誠に有難うございます。
本製品の性能を最大限に発揮し、安全かつ長くご使用頂ける様、ご使用の前に必ず本取扱説明書を良くお読みください。
また、安全に取付けるとともに、正しくご使用くださいます様、お願い致します。

⚠ 危険

- ●本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。
- ●誤った取り付は本来の性能を発揮できないだけではなく、重大な事故に繋がる可能性がありますので取付要項の手順で確実に行ってください。
- ●適応車種以外への取り付けや、改造加工は危険ですので絶対に行わないでください。
- ●エンジン暖気後の作業は、エンジンルーム内パーツが高温になっていますので火傷などに注意してください。
- ●本製品はECUリプログラムシステムですので、誤った方法や手順、注意事項を守らない場合にECUを破損する可能性があります。必ず本取扱説明書の内容通り作業を行ってください。

⚠ 注意

- ●誤った取り付け及び誤った使用方法による物損は保証の対象外になります。
- ●この製品は厳密な品質管理の後出荷していますが、運送上のトラブル等による不具合がないか装着前に必ずご確認ください。万一異常が見つかった場合は購入店、または弊社営業部宛に直接ご連絡ください。正常な製品と交換致します。
- ●本製品はデリケートにできています。無理に力を加えたりしないで下さい。取扱いには十分ご注意ください。

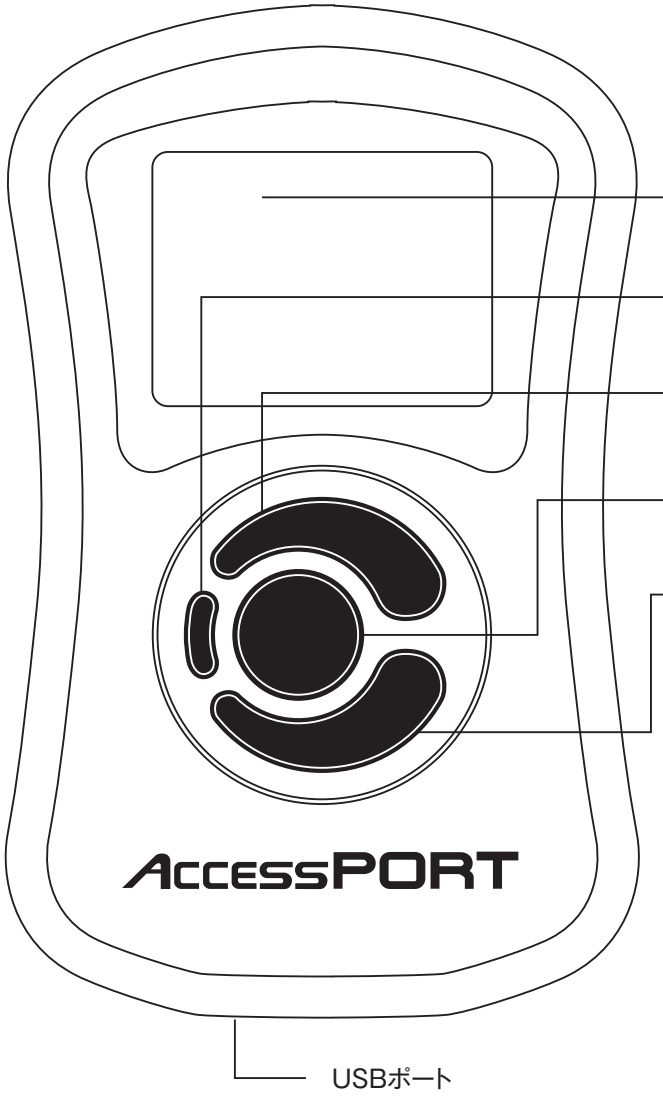


内容品
アクセスポート本体　　1
専用ケーブル、ユニット　各1

製品概要

●アイフェルアクセスポートはECUリプログラミングシステムです。専用ケーブルで診断ポート（ダイアグノーシスポート）に接続、ノーマルECUをチューニングECUにリプログラムします。
●シンプルな操作系統によってどなたでも簡単にチューニングデータを車両にインストールできます。ECU本体は取外しませんので面倒な作業も不要です。ECUを取外さないのでイモビライザーもオリジナルのまま動作します。
●ベースマップはECU内部のフラッシュROMに書込まれ、バッテリーを外したりECUをリセットしてもチューニングECUのままです。
●インストール･アンインストール動作はECU内のフラッシュメモリーを書換えます。フラッシュメモリーは約100回前後の書換寿命があります。必要のあるとき以外は書換無いように注意してください。
●車載状態のECUにチューニングプログラムを書き込み、その後ノーマルプログラムに変更することも可能です。アイフェルアクセスポートは、下取不要、加工不要、さらにノーマルデータにも戻せるECUチューニングツールです。
●チューニングデータは低回転のNA領域よりトルクアップさせ、高いレスポンス性能、トルクフルな出力により、低回転域よりスムーズで心地よいスポーツフィーリングを実現しています。スピードリミッタ、設定過給圧の変更、点火タイミング、燃料混合も各種センサーより検出される信号より算出、統合制御して最適なエンジン運転状況を作り出しています。
●本製品は正常なノーマルコンディションエンジンに最適なセッティングになっています。
●重度の改造、排気量変更及びターボチャージャーの変更などエンジン主機に関わる部分の変更をされたエンジンには使用しないでください。
●ご使用にあたり、充分な性能と耐久性を確保するために、エンジンオイルやエアーフィルタ、冷却水や点火プラグのコンディション管理等のメンテナンスは怠らないでください。本製品の性能を充分に保つためには、追加メーター等でエンジンの状態を管理される事をお勧めいたします。
●純正同様のフェイルセーフ･プログラムを採用しています。何らかの原因により、ECUへの信号異常が検知されますと燃料カット制御が作動し、エンジンを保護する為、回転数制御、過給圧制御を行います。
●過給圧は自動的に制御されています、基本的に他社製過給圧制御装置を必要としません。過給圧制御装置はオーバーシュート値などを下げる目的以外では使用しないでください。
●設定加給圧は各回転数ごとに設定変更しています。最大過給圧と安定過給圧は同じではありませんのでご注意下さい。また、他社製の加給圧調整装置をご使用になられた場合はこの機能は作動しません。
●本製品は車種別専用設定となっています。適応車種以外へのお取付、分解･加工は絶対にしないでください。エンジン及び車両破損の原因となります。
●本製品は外見上では車種特定できません。必ず本書を保管し製品とセットで管理してください。車種不明品に関しましては、実費負担による点検を申し受けます。

各部の名称



⚠ 注 意

アクセスポート本体は非常にデリケートに出来ています。無理な力などは加えないで下さい。本製品は防水加工を施しておりませんので、水などの液体はかけないで下さい。汚れた場合には柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。
洗剤、溶剤などは使用しないでください。変色や変形を招きます。

インストールの前に

⚠ 注 意

●スピードリミッター解除装置、リモートスターターなど
CAN通信信号を使用する機器が装着されている場合は一旦取外してから本製品を使用してください、本製品が正常に動作しない可能性があります。
●書換中には車両から離れないで下さい。
●はじめに製品と車両の適合を確認してください。
●本取扱説明書の示すとおりに作業をして下さい。
操作方法を誤った場合にはECUは破損します。
なお誤った作業方法、取扱説明書の通り作業しなかった場合、弊社は一切保証を致しません。
●本製品は同時に複数の車両に対して使用することはできません。

インストール手順

本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、
または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。

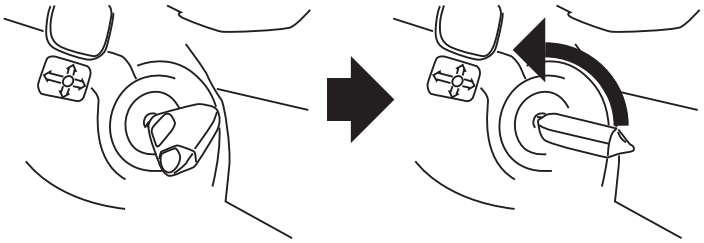
1

《1》バッテリーの充電状態を確認してください。
フル充電されていない場合は新品に交換するか、しばらく運転させて充電してください。
《2》エアコン、オーディオなどの電子機器、ecoモードスイッチをOFFにして下さい。
バッテリー上がりの原因になります。

> ⚠ 注 意　作業途中のバッテリー上がりはアクセスポートのインストールが出来なくなるだけでなく、
> ECUの破損につながります。

2

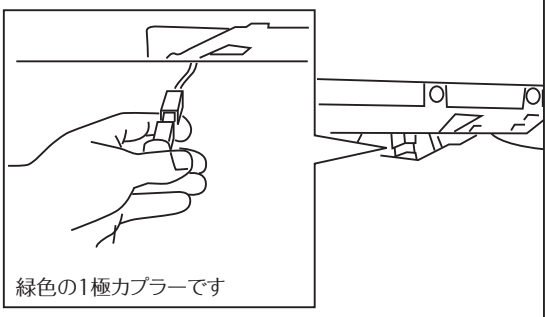
キースイッチを完全にOFFの状態にします。

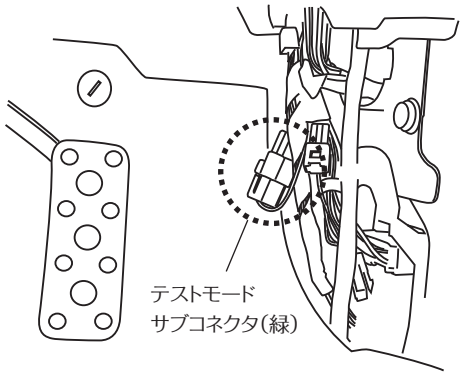


3

テストモードコネクタ、イニシャライズコネクタを接続します。
※GR/GH, SH/YA系は接続の必要がありません、手順4へ進みます。
※BL/BP系は助手席側、GD, SG系は運転席側ダッシュボード下部にあります。

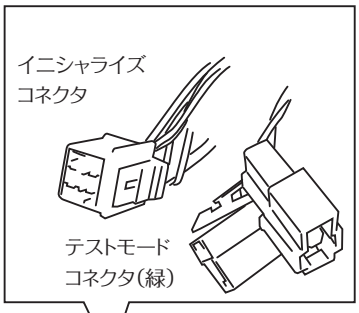
《BL/BP系》

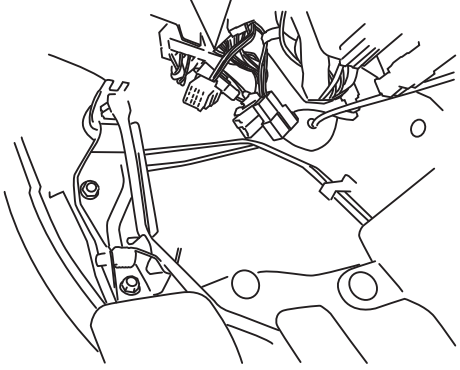




※BL/BP系はサブコネクターがアクセルペダル横の
パネル内にあります、接続して下さい。

《GD, SG系》

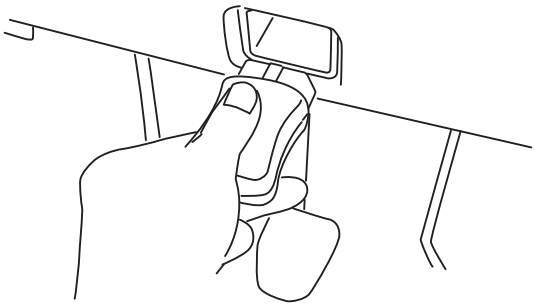


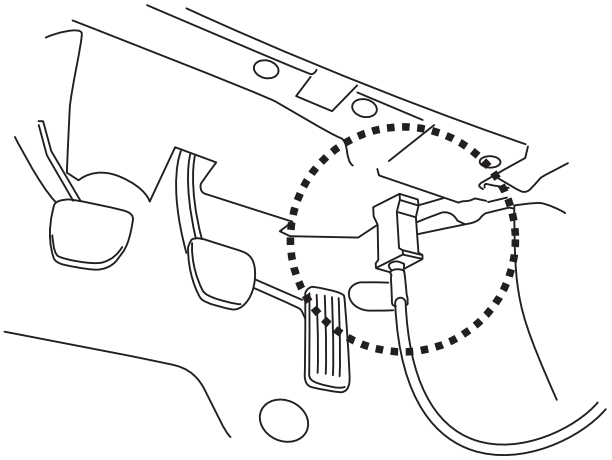


※イニシャライズコネクタはGD,SG系のみ接続します。
※イニシャライズコネクタは2種類あります、
形状を確認して接続してください。

❹

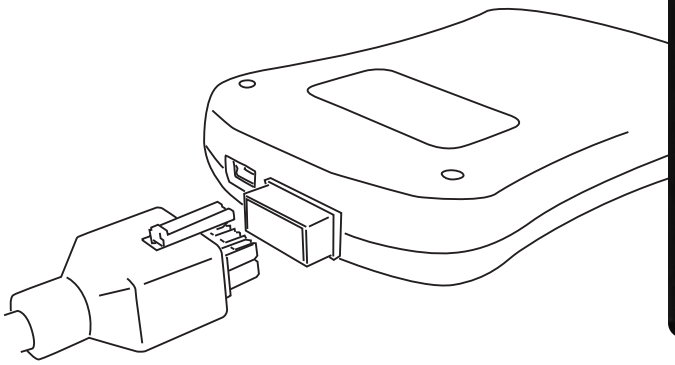
専用ケーブルユニットを
ダイアグノーシスポートへ接続します。





❺

車両に接続した専用ケーブルをAP本体に接続します。
正常に接続されると自動的に電源が入り、オープニング画面が表示されます。

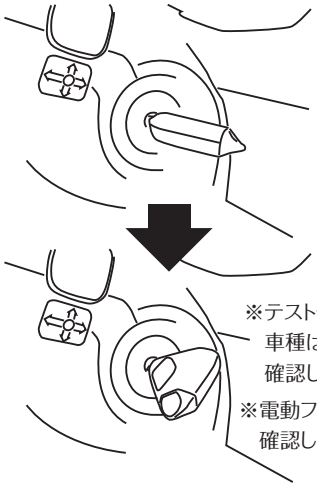


※まだ、OKボタンを押さないで下さい
※ツメの位置を合わせて接続します

❻

インストールの実行

《1》キーONにします。
※エンジンは始動させないでください。



※テストモードコネクタを接続する
車種は電動ファンが間欠動作します、
確認してください
※電動ファンが間欠動作します、
確認してください。

《2》 インストールアイコンを選び、OKボタンを押します。
《3》 ECU確認画面が表示された場合、
確認後OKボタンを押します。

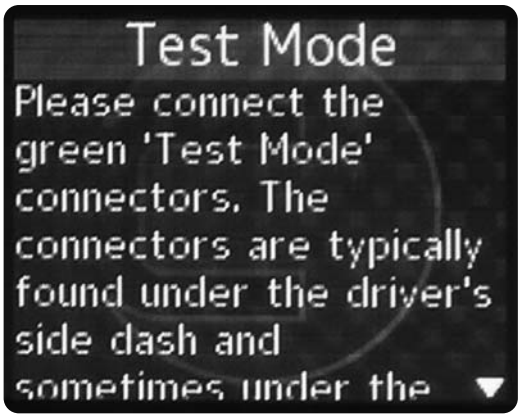
7

《4》 インストールするデータを選択し、OKボタンを押します。

データを確認し再度OKボタンを押します。

《5》 イニシャライズ、テストモード各コネクター接続確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。

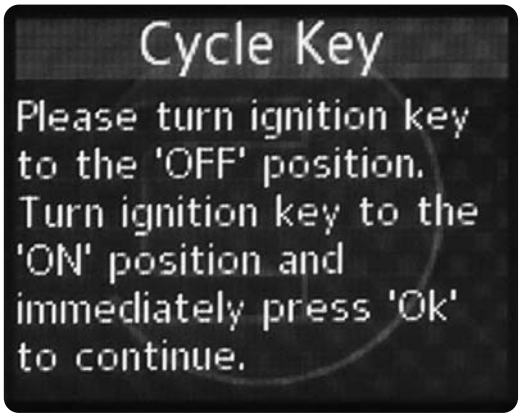
イニシャライズコネクタ接続確認
※エラーメッセージが表示された場合、
各コネクタが接続されているかを確認してください。



テストモードコネクタ接続確認

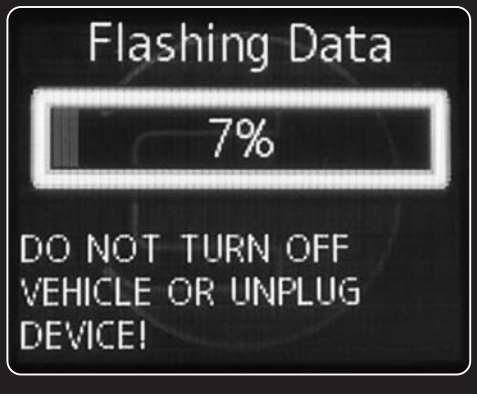
《6》 Cycle Keyメッセージが表示された場合、
一旦キーを完全にOFF、
再びONに戻し、OKボタンを押します。

※エンジンは始動させないでください。
※OKボタンを押すまで、
3秒以上間隔をあけないでください。



⚠ 注 意

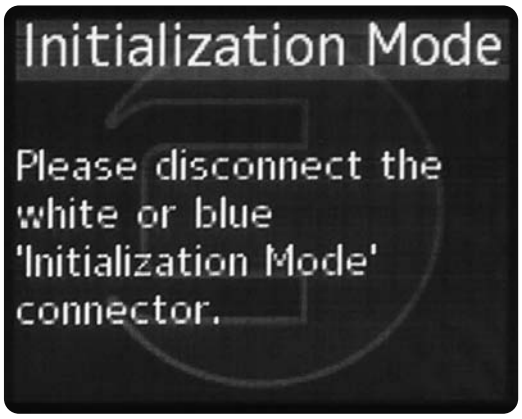
書込中はケーブルを抜いたり、
キーOFFにしないでください。
書込不良となりエンジンが始動できなくなります。



❽

《7》 完了メッセージが表示されたら、キーを完全にOFFにしOKボタンを押します。
※この時にそのままエンジンを始動させないでください。

《8》 イニシャライズ、テストモード各コネクター解除確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。



イニシャライズコネクタ解除確認

テストモードコネクタ解除確認

《9》 ❸で接続した、イニシャライズコネクタ、テストモードコネクタを取外します。

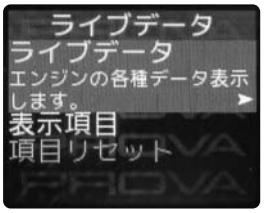
動作確認

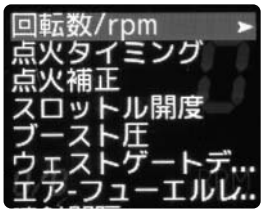
《1》 エンジンを始動させた状態で本体を接続します。
《2》 メニュー画面からダウンキーを押し、
ライブデータを選択、OKボタンを押します。
《3》 各項目が正常に表示されているかを
確認してください。

各メニュー項目

ライブデータ

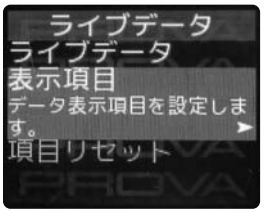
ライブデータ:
ECUへ入力されている回転数、車速、A/Fなどを表示します。
各項目を選択し、OKボタンで決定します。

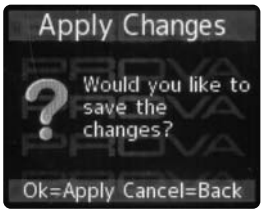




表示一覧

表示項目:
ライブデータ内での表示・非表示を設定できます。

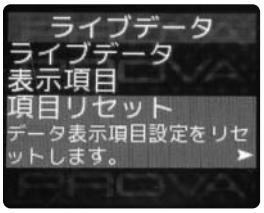




変更確認画面

変更終了確認

項目リセット:
表示項目で設定した内容を消去し、全てを表示可能にします。



各メニュー項目

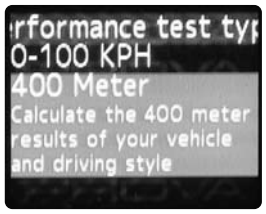
パフォーマンス:
ECUに入力されている信号値から、0-100km/h,
0-400m の時間を計測します。

■テスト項目
0-100KPH → 0-100km/h 到達までの時間計測
0-400m → 0-400m 走行までの時間計測
※実際の走行の際は完全に停車し、
周囲の交通状況を十分に確認してから行ってください。

《1》 パフォーマンスメニューを選び、OKボタンで選択してください

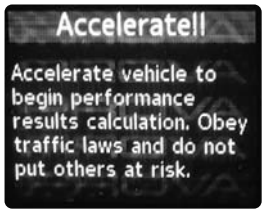
《2》 テスト項目を選び、OKボタンで選択します。

0-100km/h 測定



0-400m 測定

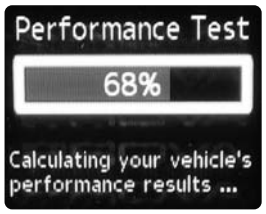
《3》 完全に停車し、画面を確認したら走行スタートします。



※周囲の安全を十分に確認してから
走行開始してください。

※車速信号が 0km/h にならないと
停車メッセージが表示されます。

《4》 計測が終了したら、安全な場所に停車します。



各メニュー項目

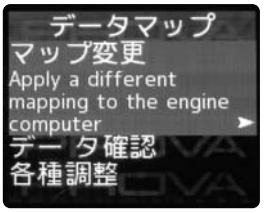
データマップ

内蔵データ種類

SSECU mode	チューニングデータ
Security mode	エンジンが始動しません、 長期間の駐車時など 盗難防止などにご利用下さい。
Nomal mode	ノーマルデータ(アンインストールではありません)
Valet mode	Revリミット 3,000rpm データ

※ディーラー入庫の際などは、アンインストールを行ってください。
※データ種類は変更になる可能性があります。

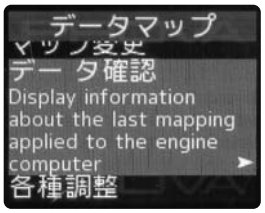
マップ変更:
リアルタイムマップ、ベースマップの各データを切り替えることが出来ます。



リアルタイムマップ:
RAM領域を使用したメモリダンプを行います、ECUを書換えませんので、始動状態でも切り替えられます。

ベースマップ:
ECUを書換える為、インストール時同様の手順が必要です。

データ確認:
リアルタイムマップ、ベースマップの現在使用中データを確認できます。

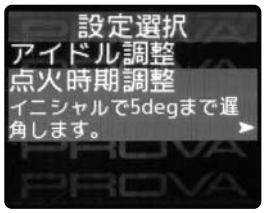


リアルタイムマップの確認

ベースマップの確認

各種調整:
ECUで可能な設定変更ができます。

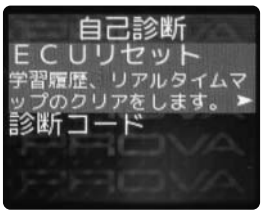
アイドル回転数調整:
AC ON/OFF時のアイドル回転数を個別に設定できます。



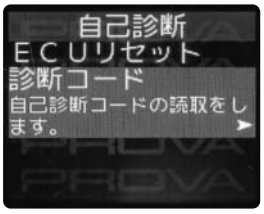
点火時期調整:
イニシャルで点火時期を-5degまで設定できます。

各メニュー項目

自己診断



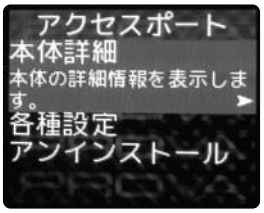
ECUリセット:
ECUメモリをリセットします。リアルタイムマップも消去されますので、インストール(ベースマップ)状態に戻ります。



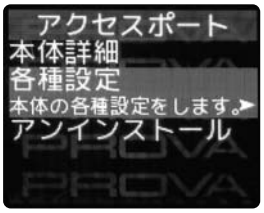
診断コード:
既出のエラーコードを読取表示します。サービスマニュアルと照らし合わせることで原因を特定できます。

アクセスポート

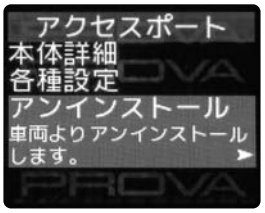
アクセスポート:
本体の詳細情報の確認、アンインストールを行うことができます。



本体詳細:
シリアル、ファームウェア、現在の状態などの本体情報を表示します。



各種設定:
表示言語の設定ができます。



アンインストール:
車両よりアクセスポートを完全に取外します、取扱説明書の手順に従って行ってください。

アンインストール手順

本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、
または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。

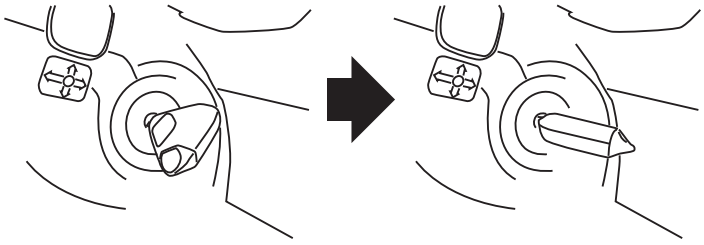
1

《1》バッテリーの充電状態を確認してください。
フル充電されていない場合は新品に交換するか、しばらく運転させて充電してください。
《2》エアコン、オーディオなどの電子機器、ecoモードスイッチをOFFにして下さい。
バッテリー上がりの原因になります。

⚠ 注 意　作業途中のバッテリー上がりはアクセスポートのインストールが出来なくなるだけでなく、
ECUの破損につながります。

2

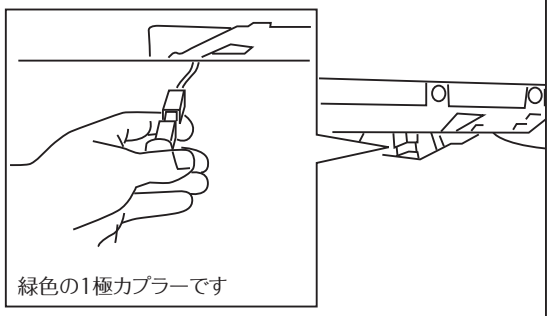
キースイッチを完全にOFFの状態にします。

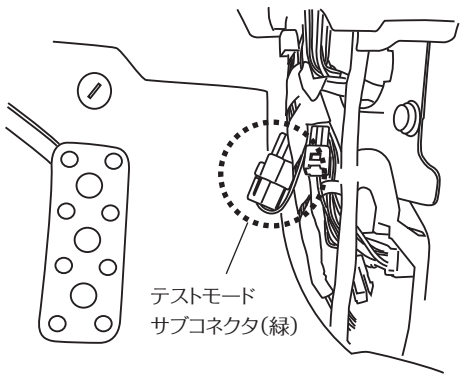


3

テストモードコネクタ、イニシャライズコネクタ（GD,SG系のみ）を接続します。
BL/BP, GH8, GRB系は助手席側、GD, SG系は運転席側ダッシュボード下部にあります。

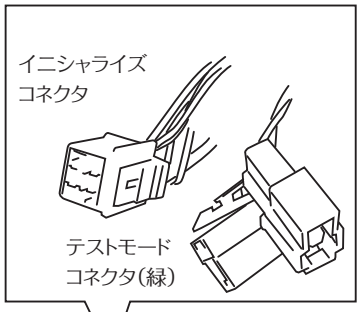
《BL/BP系》

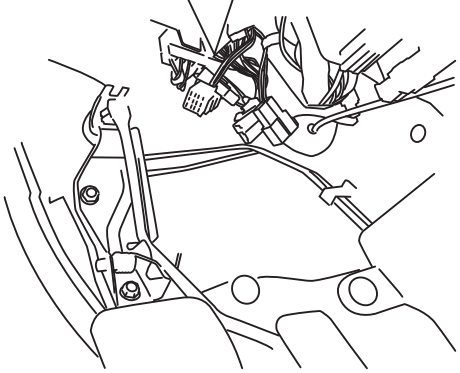




※BL/BP系はサブコネクターがアクセルペダル横の
パネル内にあります、接続して下さい。

《GD, SG系》

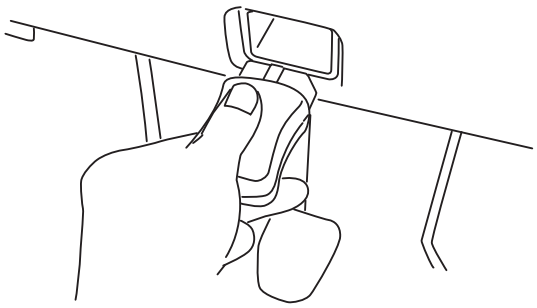


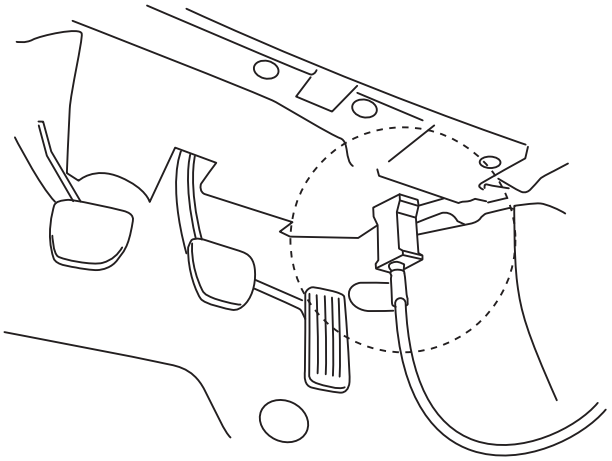


※イニシャライズコネクタはGD,SG系のみ接続します。
※イニシャライズコネクタは2種類あります、
形状を確認して接続してください。

❹

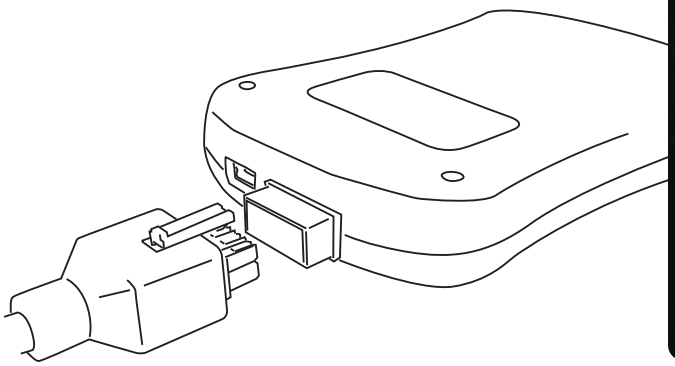
専用ケーブルユニットを
ダイアグノーシスポートへ接続します。

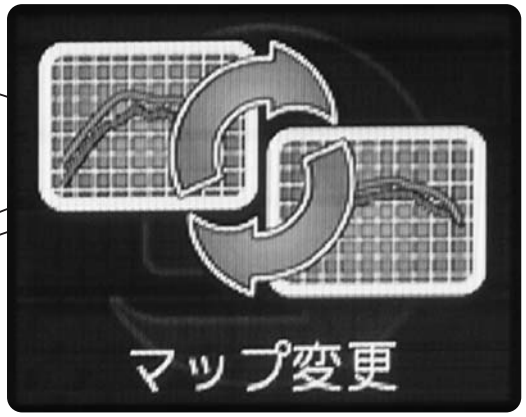




❺

車両に接続した専用ケーブルをAP本体に接続します。
正常に接続されると自動的に電源が入り、メニュー画面が表示されます。



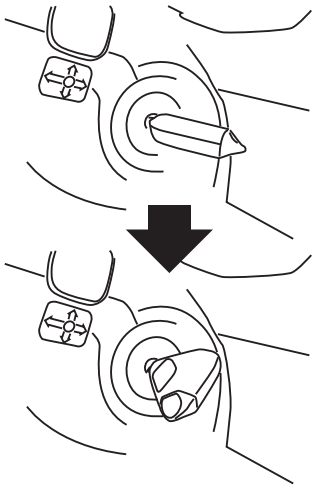


※まだ、OKボタンを押さないで下さい
※ツメの位置を合わせて接続します

❻

インストールの実行

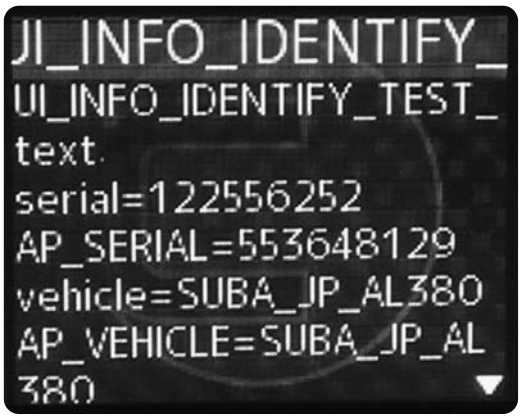
《1》キーONにします。
※エンジンは始動させないでください。



《2》アンインストールアイコンを選択、
OKボタンを押します。

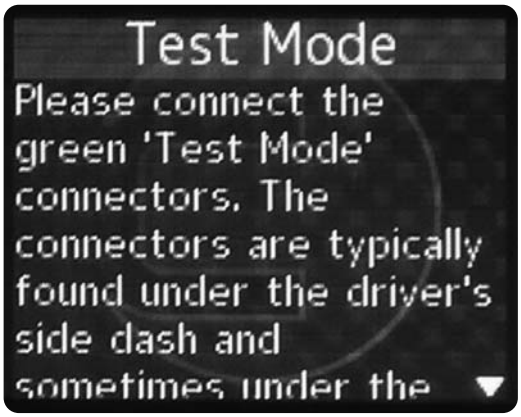
6

《3》 車種を確認し、OKボタンを押します。



《5》 イニシャライズ、テストモード各コネクター接続確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。

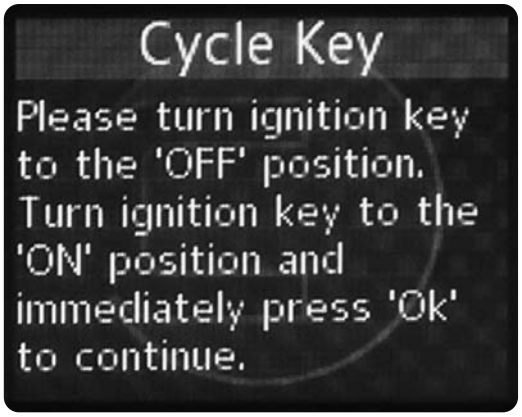
イニシャライズコネクタ接続確認
※エラーメッセージが表示された場合、
各コネクタが接続されているかを確認してください。



テストモードコネクタ接続確認

《6》 Cycle Keyメッセージが表示された場合、
一旦キーを完全にOFF、
再びONに戻し、OKボタンを押します。

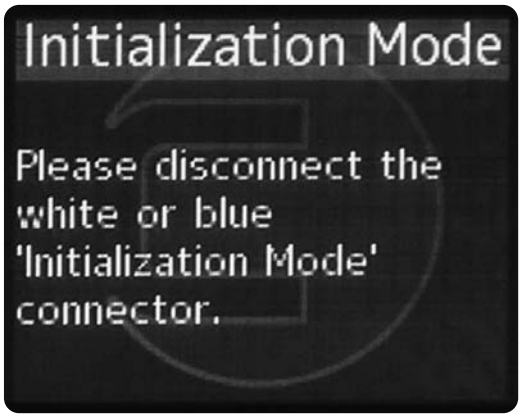
※エンジンは始動させないでください。
※OKボタンを押すまで、
3秒以上間隔をあけないでください。



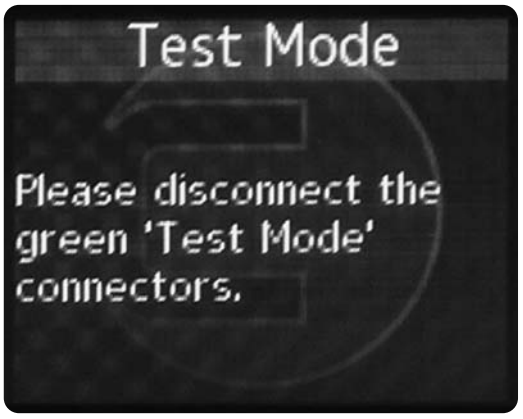
❻

《6》 完了メッセージが表示されたら、キーを完全にOFFにしOKボタンを押します。
※この時にそのままエンジンを始動させないでください。

《7》 イニシャライズ、テストモード各コネクター解除確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。



イニシャライズコネクタ接続確認



テストモードコネクタ接続確認

《8》 ❸で接続した、イニシャライズコネクタ、テストモードコネクタを取外します。

保証規定

●本取扱説明書の示す通りに作業を行ってください。ECU本体が破損致します。本取扱説明書通りに作業しない場合、弊社は一切の保証を致しません。
●本製品は水濡れ、電気的なショートあるいは落下などの強い衝撃により破損します。取扱いには細心の注意を怠らないようお願いいたします。
●本製品は正常な使用状態では内部データが破損する事はありません。なんらかの外的要因に起因する故障、破損は保証対象外になりますのでご了承下さい。
●特にアクセル全開の最高速状態を5分以上連続すると、燃焼室温度の上昇、燃料ポンプ容量不足による燃圧低下を生じる恐れがありますので高負荷連続運転は行わないで下さい。また、高負荷状態の走行が多い場合は燃料ポンプの強化、冷却系の強化など対策処理を行って下さい。
●製品の不具合、故障、トラブル等異常を感じましたら、まず具体的な症状を確認して下さい、原因の早期対策に有効になります。また、不具合などご不明な点がございましたら弊社営業部宛てにご相談ください。
●本製品を取付けた事により、富士重工業（株）の車両クレーム保証対象外とされる可能性があります。
●本製品を弊社および販売店以外の第3者から、無断で譲渡･売買により入手された場合、製品の点検、確認は弊社で承りますが、交換および買取などは一切行いませんのでご了承ください。
●所定の記載事項にもれ等がありますと有償保証とさせていただきます。また、使用上の誤り、不当な修理、分解改造による故障および破損、お買い上げ後の輸送や落下による故障などの場合には一切の保証対象外とさせていただきます。
●その他ご不明な点などがございましたら、弊社営業部（045-591-5501）までお問い合わせください。

保証書

保証規定内容を承諾し、記載事項に偽りの無い事を誓約致します。

商品番号	※製品概要のページをご覧になってご記入ください。
シリアルNo	※製品本体裏面に記載されています、製品を確認の上ご記入ください。
車体番号	※エンジンルーム内のコーションプレートを確認の上ご記入ください。
保証期間	ご 購 入 日 よ り 1 年
ご購入日	年　　月　　日
お 客 様	名前 住所 電話
販 売 店	

※ご提供頂いた個人情報は当社内に留め、本人のご了承なしに第三者に開示・共有することはありません。

販売元:株式会社プローバ
〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田1-14-21　Phone. 045-591-5501　Fax. 045-591-5535
support@jprova.co.jp　http://www.jprova.co.jp/